

「あなたの知識が家族をまもる・地域をまもる」

- 募集人数 40人 ●申込締切 5月15日(金)
- 申込先 鎌ヶ谷市社会福祉協議会ボランティアセンター

講座内容

第1日目 / 5月18日(月)13時30分～15時00分

講演 「災害時のボランティアの役割」

講師 竹内 久子氏

千葉県婦人防火クラブ連絡協議会会長

会場 総合福祉保健センター 5階団体活動室

第2日目 / 5月25日(月)13時30分～15時30分

講演 「災害ボランティアセンターの役割」

講師 片桐 卓氏 船橋SLネットワーク代表

会場 総合福祉保健センター 5階団体活動室

第3日目 / 6月1日(月) ①9時～12時 ②13時30分～16時30分

おぼえよう！心臓マッサージ・人工呼吸(普通救命講習Ⅰ)

会場 鎌ヶ谷市中央消防署

第4日目 / 6月8日(月)13時～15時30分

身につけよう！応急手当と初期消火

会場 総合福祉保健センター 6階大会議室



ボランティアセンター



総合福祉保健センター5F

問い合わせ TEL(442)2940

FAX(446)4545

開所時間

月～金曜日:午前9時～午後4時

ボランティアまめ知識

ボランティア活動の4原則

- ①自発性・自主性(やる気)
- ②公共性・連帯性(思いやり)
- ③無償性・無給性(やりがい)
- ④創造性・先駆性
(よりよい社会づくりへの参加)

電車を使っておでかけ

きらら指導員

八尾 佐和子

NPO法人きららでは、障がいを持った子ども達とその家族のための福祉活動を行い、障がいがある子ども達が放課後や長期のお休みをのびのびと安全に楽しく生活する場を得られる事を目的としています。



ボランティアの方々には、「いつも来て頂いて、本当に、本当に感謝しています。これからもボランティアの方々も助けて頂きながら、スタッフ一同頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。」



「きらら」の活動に参加して

ひまわりの会 溝口 孝三



昨年、7月、地域友人の紹介により、お手伝いを始めました。何よりも、「きらら」の趣旨である、子ども達ののびのびと楽しく生活する場をつくりたいと活動している事に共感したからです。

今回は、「電車を使っておでかけ」に参加しました。ここでは、子ども達の笑顔がたくさん見られ、とても嬉しくなりました。そして、子ども達と一緒に遊ぶことは、私にとっても子ども達にとっても、豊かな生活を送るためには、必要だと感じました。これからも、時間を創り、私の生きがいになるよう頑張りたいと思います。

集めています

ボランティアグループや施設で使用します。

- 新しいタオル
- 書き損じハガキ
- 使用済み切手、テレホンカード
- 花の種



個人ボランティア紹介

笑顔の素敵な仲間達とともに



鳴海百合子さん

十一年前、主人が右半身不自由になりましたので、私が付き添いをしております。その間、障がいを持った方々によるショートテニス(身障センターの講座)に主人を参加させて頂く機会がありました。皆さんはとにかく笑い顔、笑い声で一杯でした。杖も忘れてボールを追っかけたり、目の不自由な人が鈴入りボールを上手に打った時などは拍手がっさい、大喜びでした。

又、私は視覚障がいの人達が踊る、社交ダンスのボランティア活動にも参加しています。練習は月2回、スタンディングさん(相手をして教える人)とペアを組み行きます。和気あいあいとした風景です。そしてダンスパーティ、冬祭り時に成果の発表となります。みなさんの立派な踊り振りには感心させられました。

私は皆さんの笑い顔、笑い声から元気と勇気を頂き、これからも頑張りたいと思っております。